

室名	基本的性能	建築														備考			
		耐火	洪水浸水対策	防犯	監視カメラ	音環境	二重床	床荷重	床振動	床仕上げ	壁仕上げ	天井仕上げ	カーテン/ブラインド	その他					
室名	各室には本表に記載の他、「別添資料17 什器備品及び映像音響機器リスト」、「別添資料2 収蔵庫設備リスト」及び「別添資料3 壁面展示ガラスケースの標準仕様」に記載の備品等を設置する。	面積 (㎡) または 収容人数	天井高 (mm)	○…必ず GL+5.0m以上に配置 △…できる限り GL+5.0m以上に配置	レベル1…誰でも入れる レベル2…職員のみ入れる レベル3…限られた職員のみ入れる	II…高い静穏性 III…一般事務室程度の静穏性													
収蔵エリア																			
収蔵庫 共通	<ul style="list-style-type: none"> 作品の種類、材質、性質等に応じて、適正に管理できるスペースを確保した複数の収蔵庫を設置 恒温恒湿の24時間空調とガス消火設備を備える 限られた職員のみが入れるようセキュリティ対策の徹底を行う 虫などによる生物被害対策の徹底を行う 気密性、耐火性等について十分配慮する 急激な温湿度環境の変化を避けるため、前室を設ける 浸水による美術品の保護のため、GL+5.0m以上の位置に設ける 内壁と躯体との間に空気層を設けた二重床天井構造とし、空気層を空調する 最上階に位置した場合も、外気や雨水の影響を受けないよう配慮する 収蔵庫への出入口は基本的に1か所とする 収蔵庫は前室-廊下間に2時間耐火、前室-収蔵庫間に30分耐火を設定し、それぞれ日本セーフファニチュア協同組合連合会規格を満たす 収蔵庫は、それぞれで温度設定が可能な計画とする。 収蔵庫は、将来の二層化に対応できるよう、床荷重、電力盤の容量を見込む。 「空調間欠運転」に記載のある場合も、記載の時間外であっても、温湿度の変化が生じた場合には、空調を運転し、必要な温湿度の条件を維持する 															<ul style="list-style-type: none"> その他、発注者にて以下を準備するので、事業者において当室へ移転、設置すること 「スチール棚(空箱・研究資料用)W1800×D470×H1760」…2架 「スチールラック(道具整理用)W1500×D470×H1760」…2架 			
収蔵庫①	<ul style="list-style-type: none"> 近世日本画、近現代日本画、書等および屏風等などを収蔵する 出入口は開口幅3.5m以上、高さ3.5m以上とし、耐火扉とは別に木製戸を設ける 100号以上の作品を固定するため、一部壁面に金属製メッシュを取り付ける 通常の利用を行う際の照度、温湿度をはじめとした基本的性能、建築、設備については右記のとおりとするが、公開承認施設として重要文化財の展示等に利用する室となることから、「別添資料12 国宝・重要文化財の公開に関する取扱要項」、「別添資料13 文化財公開施設の計画に関する指針」に記載の文化財の取り扱いが可能となるようにすること。 収蔵棚その他の収蔵設備と干渉しない壁面には、耐荷重70kg以上のピクチャーレールを設ける 	1,710	310	5,000	○	○	レベル3	○	-	○	一般書庫、倉庫等		調湿性能に優れた内装材を採用する	-				<ul style="list-style-type: none"> その他、発注者にて以下を準備するので、事業者において当室へ移転、設置すること 「マップケース(引出し収納)W1380×D990×H1340」…2セット 「マップケース(引出し収納)W1600×D1250×H1450」…1セット 「屏風用 木製屏風棚W1540×D810×H2000」…15架 「襖絵木製オープン棚W1000×D1060×H1850」…2架 	
	<ul style="list-style-type: none"> 洋画、水彩画、素描、版画等および額縁等などを収蔵する 出入口は開口幅3.5m以上、高さ3.5m以上とし、耐火扉とは別に木製戸を設ける 100号以上の作品を固定するため、一部壁面に金属製メッシュを取り付ける 収蔵棚その他の収蔵設備と干渉しない壁面には、耐荷重70kg以上のピクチャーレールを設ける 		820	5,000	○	○	レベル3	○	-	○	一般書庫、倉庫等		調湿性能に優れた内装材を採用する	-			<ul style="list-style-type: none"> その他、発注者にて以下を準備するので、事業者において当室へ移転、設置すること 「マップケース(引出し収納)W770×D600×H1230」…3セット 「マップケース(引出し収納)W1200×D930×H1040」…1セット 		
	<ul style="list-style-type: none"> 彫刻、工芸品などを収蔵する 出入口は開口幅3.5m以上、高さ3.5m以上とし、耐火扉とは別に木製戸を設ける 常設展示室③と同一階が望ましいが、荷物用EVを介して内滑な搬入動線が確保できていればその限りではない 不安定な彫刻作品の地震等による転倒防止のため、壁面に金属製メッシュを取り付ける 		400	5,000	○	○	レベル3	○	-	○	一般書庫、倉庫等		調湿性能に優れた内装材を採用する	-					
	<ul style="list-style-type: none"> 恒温恒湿の24時間空調とガス消火設備を備える 作品の梱包、開梱、点検、写真撮影などを行う 大型作品の写真撮影が可能な広さを確保する(作品との距離に配慮する) 出入口は開口幅3.5m以上、高さ3.5m以上とする 作業台を置くスペースを確保する 		100	5,000	○	○	レベル3	○	-	○	一般書庫、倉庫等		調湿性能に優れた内装材を採用する	-					
	<ul style="list-style-type: none"> 写真および額縁等を収蔵する 現代の大幅カラー写真の保管にも対応できるスペースを確保 ネガフィルム保管用の冷蔵庫を設置できる仕様とする 前室を設ける(前室は、夏季22℃±1℃、55%±5%、冬季18℃±1℃、55%±5%の空調を備える) 		80	5,000	○	○	レベル3	○	-	○	一般書庫、倉庫等		調湿性能に優れた内装材を採用する	-					
一時保管庫	<ul style="list-style-type: none"> 借用作品を適切に一時保存管理し、所蔵品との混在を明確に区分できるだけのスペースを確保 恒温恒湿の24時間空調とガス消火設備を備える 企画展用の美術品やクレート等を一時的に保管する 温湿度管理ができる設備を備える(二重壁構造は不要) 企画展示室と同一フロアとし、GL+5.0m以上の位置に設ける 出入口は開口幅3.5m以上、高さ3.5m以上とする 海外作品の夜間搬入時等に対応できるよう、荷物用EVの近くに設置する トラックヘッドは展示室へのアクセスしやすい位置に設置する 通常の利用を行う際の照度、温湿度をはじめとした基本的性能、建築、設備については右記のとおりとするが、公開承認施設として重要文化財の展示等に利用する室となることから、「別添資料12 国宝・重要文化財の公開に関する取扱要項」、「別添資料13 文化財公開施設の計画に関する指針」に記載の文化財の取り扱いが可能となるようにすること 		60	4,500	-	○	レベル3	○	-	-	一般書庫、倉庫等		調湿性能に優れた内装材を採用する	-					

室名	基本的性能	建築														備考			
		耐火	洪水浸水対策	防犯	監視カメラ	音環境	二重床	床荷重	床振動	床仕上げ	壁仕上げ	天井仕上げ	カーテン/ブラインド	その他					
室名	各室には本表に記載の他、「別添資料17 什器備品及び映像音響機器リスト」、「別添資料2 収蔵庫設備リスト」及び「別添資料3 壁面展示ガラスケースの基準仕様」に記載の備品等を設置する。	面積 (㎡) または 収容人数	天井高 (mm)	○…必ず GL+5.0m以上に配置 △…できる限り GL+5.0m以上に配置	レベル1…誰でも入れる レベル2…職員のみ入れる レベル3…限られた職員のみ入れる	II…高い静穏性 III…一般事務室程度の静穏性													
トラックヤード	<ul style="list-style-type: none"> 美術専用トラック(11t)から作品の搬出入が安全かつ迅速にできる十分な広さと構造・設備を備える 美術館と県民ギャラリーはそれぞれ別の搬出入口・トラックヤードとする ワークショッブルームへの搬入は、上記美術館のトラックヤードから行うものとする 管理エリアからトラックヤードへのアクセス道路はできる限りフラットとする トラックヤードの駐車スペースと荷降ろしスペースには、荷降ろしを円滑に行える段差を設ける 排気ガスの作品への影響を防ぐため、換気設備やシャッター等を適切に設ける 屋外との境界に、シャッターに加え、シャッター閉鎖時の出入口となる扉を設ける シャッターは電動とし、停電時にも運転が可能なる非常用発電機からの電源供給を確保する 11tトラック1台が駐車した時にトラックの両側に十分に作業できる広さを確保する 11tトラックを駐車し、シャッターが閉められる有効天井高さを確保する ウイングを開けられる有効天井高さを確保する 警備員室に隣接させる 台車用スロープを設ける 耐荷重2000kg(程度)のホイストクレーンを設ける W3000mm×D2500mm(程度)耐荷重3000kg程度の昇降台(テーブルリフター)を設ける 荷解室からEVの扉に一直線に作品を搬入できるような配置計画とする 通常の利用を行う際の照度、温度湿度をはじめとした基本的性能、建築、設備については右記のとおりとするが、公開承認施設として重要文化財の展示等に利用する室となることから、「別添資料12 国宝・重要文化財の公開に関する取扱要項」、「別添資料13 文化財公開施設の計画に関する指針」に記載の文化財の取り扱いが可能となるようにすること 	300	6,000	-	-	レベル2	○	-	-									自動車車庫及び自動車通路	
荷解室	<ul style="list-style-type: none"> トラックへの搬出入時に作品を集約する トラックヤード及び荷物用EVと隣接させる トラックヤードとの境界に、排気ガス遮断用のシャッターを設ける トラックヤードとの境界に、シャッターに加え、シャッター閉鎖時の出入口となる扉を設ける 十分な天井高を確保し、美術品の搬出入に対して梁や配管等が障害とならないよう配慮する 事務室からのアクセスに配慮する 台車等の置き場が荷扱作業の支障にならないよう配慮する 荷解エリア内に、業者による燻蒸委託にも対応できるよう、独立した空調と、適切に燻蒸ガスを排気できる設備のある多目的倉庫(20㎡程度)を設ける 		6,000	-	-	レベル2	○	-	-										自動車車庫及び自動車通路
展示エリア																			
展示室 共通	<ul style="list-style-type: none"> 展示室は、作品によって温度や照度を調整可能とするため、複数の展示室を確保 公開承認施設として機能し得る精度をもった空間とする 多様な展示に対応できる空間とするため、下記に配慮する <ul style="list-style-type: none"> →出来る限り独立した柱等がない空間とし、室形状は原則整形とする →多くの美術品が展示できるように、十分な直線の壁面積を確保する →各展示室に展示替え等に利用できる移動間仕切を5.0mピッチ程度に設置できる構造とする 来館者および作品搬入のスムーズな動線を確保する(展示替えの際の作業用ルートと来客用ルートが交差しないよう計画する) チケットのぎざり、企画展示用と常設展示用を別々に設けられるような計画とする 美術品保護の観点から、常設展示室③以外は自然光の影響を受けない空間とする 展示照明は、下記に配慮する <ul style="list-style-type: none"> →照射物(展示品)の損傷を低減できる器具とする(LED照明を基本とし、個別調光機能を有すること) →ライティングダクトは、壁面(移動間仕切りを含む)に展示された展示物を照射する照明配置の微妙な調整が可能となるように設ける →ライティングダクトの負荷容量は4基/㎡のスポットライトが設置可能な容量を確保する →ベース照明は展示計画を妨げないデザイン、照射方法とする 映像作品等の展示にも対応できるように十分な電源と配電盤からの配線ルートを確保する コンセントについて、床面積25㎡に1か所以上配置し、負荷容量は1000VA/箇所以上とする 恒温恒湿の24時間空調とガス消火設備を備える 天井の強度および材質構造は、吊り下げの展示を行う美術作品に配慮する 天井からピンポイントにワイヤー1~2本で吊り下げられる作品重量は最大100kg程度を可能とする 展示作業室に近接させる 展示作業室からのルートで扉を設ける場合、荷物用EVの扉の大きさを確保する 展示作業室は搬入ルート、来館者ルート及び展示室間を搬入に使用できる扉(大扉)で仕切れるようにし、その際にも出入りできる小扉を設ける 天井の高い大空間であることを考慮し、効率的な空調方式を採用する 床のホコリが舞い上がり、作品に付着することを避けるため、空調の吹き出し口と吸い込み口の設置場所に配慮すること 壁面展示ケースの内部(上部)に着脱式のスポットライトを設置できるよう計画する 壁面展示ケース内部の照明(スポットライトを除く間接照明)は、作品を展示したままでも、ケースの外部から開閉式の開口部を通じて交換できるようにする 電源盤を当該室の近辺の目立たない位置に設ける 「空調間欠運転」に記載のある場合も、重要文化財の展示等が行われている場合は、時間外も空調を運転し、必要な温度湿度の条件を維持する 																		

鳥取県立美術館整備運営事業
業務要求水準書 別添資料1 各室諸元表 (令和元年10月30日訂正版)

室名	各室には本表に記載の他、「別添資料17 什器備品及び映像音響機器リスト」、「別添資料2 収蔵庫設備リスト」及び「別添資料3 壁面展示ガラスケースの標準仕様」に記載の備品等を設置する。	基本的性能							建築							備考	
		面積 (㎡) または 収容人数	天井高 (mm)	耐火	洪水浸水 対策	防犯	監視 カメラ	音環境	二重床	床荷重	床振動	床 仕上げ	壁 仕上げ	天井 仕上げ	カーテン/ ブラインド		その他
常設展示室①	<ul style="list-style-type: none"> 年間6本程度、企画性の強い小規模な展示を実施する 展示する作品はコレクションを用いる場合と外部から借用する場合の両方がある 毎年、低い年齢層を対象とした展示や県民キュレーターが企画するような内容の展示、滞在制作するアーティストの成果発表的な展示も行う 常設展示室①と②は、一体的な(400㎡)使用もできるようにする 常設展示室①と②については規模の大きな企画展示に際しては企画展示の一部として展示室を使用することも可能とする 移動間仕切りは、展示室内部用10.0m程度設ける 固定壁面には、出入口と干渉する部分を除き、耐荷重70kg以上のピクチャーレールを設ける 	200	4,500	○	-	レベル1	○	-	○	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会所(その他)	V-90	滑りにくい素材	展示会ごとのメンテナンス(レタッチ)がしやすく、汚れやダメージが目立ちにくく耐久性の高いものを採用する	吸音に配慮する	-	-	移動間仕切りは厚160mmタイプで、上端にピクチャーレールを備え、釘打ち可能なものとする
常設展示室②	<ul style="list-style-type: none"> 常設展示室①と②は、一体的な(400㎡)使用もできるようにする 常設展示室①と②については規模の大きな企画展示に際しては企画展示の一部として展示室を使用することも可能とする 前田寛治及び近代洋画のコレクションの展示を年間5回程度開催する 移動間仕切りは、展示室内部用26.0m程度設ける 固定壁面には、出入口と干渉する部分を除き、耐荷重70kg以上のピクチャーレールを設ける 	200	4,500	○	-	レベル1	○	-	○	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会所(その他)	V-90	滑りにくい素材	展示会ごとのメンテナンス(レタッチ)がしやすく、汚れやダメージが目立ちにくく耐久性の高いものを採用する	吸音に配慮する	-	-	移動間仕切りは厚160mmタイプで、上端にピクチャーレールを備え、釘打ち可能なものとする
常設展示室③	<ul style="list-style-type: none"> 辻管堂を中心とした鳥取県の彫刻、近現代の工芸作品、岡村吉右衛門の型染め作品や収集品等の展示を年間6回程度開催する 自然光を取り入れることのできる展示空間とし、染織品等を展示する際は自然光を完全に遮断できるような計画とする 工芸品展示のため、壁面展示ケース(ケース内床の高さは900mm程度)を15.0m程度設置する 収蔵庫③と同ー階が望ましいが、荷物用EVを介して円滑な搬入動線が確保できていればその限りではない 移動間仕切りは、展示室内部用10.0m程度設ける 固定壁面には、出入口と干渉する部分を除き、耐荷重70kg以上のピクチャーレールを設ける 	200	4,500	○	-	レベル1	○	-	○	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会所(その他)	V-90	滑りにくい素材	展示会ごとのメンテナンス(レタッチ)がしやすく、汚れやダメージが目立ちにくく耐久性の高いものを採用する	吸音に配慮する	-	-	壁面展示ケースの仕様は「別添資料3 壁面展示ガラスケースの標準仕様」による 移動間仕切りは厚160mmタイプで、上端にピクチャーレールを備え、釘打ち可能なものとする
常設展示室④	<ul style="list-style-type: none"> 照度を落とした、写真と版画の専用の展示室 展示内容によっては専用の展示台、展示ケース等を設置することができるつくりとする コレクションの中から、写真、版画等、照明に考慮を要する作品の展示を年間8本程度開催する 移動間仕切りは、展示室内部用20.0m程度設ける 固定壁面には、出入口と干渉する部分を除き、耐荷重70kg以上のピクチャーレールを設ける 	180	3,500	○	-	レベル1	○	-	○	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会所(その他)	V-90	滑りにくい素材	展示会ごとのメンテナンス(レタッチ)がしやすく、汚れやダメージが目立ちにくく耐久性の高いものを採用する	吸音に配慮する	-	-	移動間仕切りは厚160mmタイプで、上端にピクチャーレールを備え、釘打ち可能なものとする
常設展示室⑤	<ul style="list-style-type: none"> 中・近世絵画及び近代日本画のコレクションの展示を年間8回程度開催する 壁面展示ケース(ケース内床の高さは500mm程度)を28.0m程度設置する 扉風を立体的に展示できるよう、展示ケース(床面)の奥行きは1000mm以上を確保する 通常の利用を行う際の照度、温湿度をはじめとした基本的性能、建築、設備については右記のとおりとするが、公開承認施設として重要文化財の展示等に利用する室となることから、「別添資料12 国宝・重要文化財の公開に関する取扱要項」、「別添資料13 文化財公開施設の計画に関する指針」に記載の文化財の取り扱いが可能となるようにすること 浸水による美術品の保護のため、GL+5.0m以上の位置に設ける 固定壁面には、出入口と干渉する部分を除き、耐荷重70kg以上のピクチャーレールを設ける 	180	3,500	○	○	レベル1	○	-	○	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会所(その他)	V-90	滑りにくい素材	展示会ごとのメンテナンス(レタッチ)がしやすく、汚れやダメージが目立ちにくく耐久性の高いものを採用する	吸音に配慮する	-	-	壁面展示ケースの仕様は「別添資料3 壁面展示ガラスケースの標準仕様」による
企画展示室	<ul style="list-style-type: none"> 巡回展を含め、多様な規模、内容の展示会に対応できるスペースを確保した展示室を設置 移動間仕切りによって自由に壁面を仕切ることが可能な空間とする 展示替え等に利用できる移動間仕切りを5.0mピッチ程度に設置できる構造とする 移動間仕切りは、壁面ケース隠蔽分50.0m程度、展示室内部用70.0m程度設ける 常設展示室①と②については規模の大きな企画展示に際しては企画展示の一部として展示室を使用することも可能とする 荷物用EVからアクセスしやすい場所に配置する 隠蔽式壁面展示ケース(ケース内床の高さは500mm程度)を50.0m程度設置する 展示ケースは、使用しない場合に移動間仕切りで隠すことができる仕様とする 浸水による美術品の保護のため、GL+5.0m以上の位置に設ける 通常の利用を行う際の照度、温湿度をはじめとした基本的性能、建築、設備については右記のとおりとするが、公開承認施設として重要文化財の展示等に利用する室となることから、「別添資料12 国宝・重要文化財の公開に関する取扱要項」、「別添資料13 文化財公開施設の計画に関する指針」に記載の文化財の取り扱いが可能となるようにすること 浸水による美術品の保護のため、GL+5.0m以上の位置に設ける 電源線を当該室の近辺の目立たない位置に設ける 固定壁面には、出入口と干渉する部分を除き、耐荷重70kg以上のピクチャーレールを設ける 	1,000	4,500	○	○	レベル1	○	-	○	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会所(その他) UPするか?	V-90	滑りにくい素材 吸音に配慮する	展示会ごとのメンテナンス(レタッチ)がしやすく、汚れやダメージが目立ちにくく耐久性の高いものを採用する	吸音に配慮する	-	-	壁面展示ケースの仕様は「別添資料3 壁面展示ガラスケースの標準仕様」による 移動間仕切りは、壁面ケース隠蔽分が厚120mmタイプ、展示室内部用が厚160mmタイプで、いずれも、上端にピクチャーレールを備え、釘打ち可能なものとする
県民ギャラリー	<ul style="list-style-type: none"> 県民の作品発表会等に活用できる十分なスペースを確保 展示会の規模、内容等に応じて室内を分割できる移動間仕切りを設置 「賑わい交流施設」として、展示会入場者だけでなく誰もが自由にアクセスできるオープンな空間とする エントランスからのアクセスおよび視認性に配慮する 移動間仕切りは、展示室内部用80.0m程度設ける 固定壁面、移動間仕切り壁面には、出入口と干渉する部分を除き、耐荷重70kg以上のピクチャーレールを設ける 	500	4,000程度	-	-	レベル1	-	-	-	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会所(その他)	V-90	滑りにくい素材	-	-	○	-	移動間仕切りは厚80mmタイプで上端にピクチャーレールを備えたものとする
県民ギャラリー用トラックヤード	<ul style="list-style-type: none"> 美術館と県民ギャラリーはそれぞれ別の搬出入口・トラックヤードとする 大道具などの搬入に対応するため、屋内に4トラックが寄りつくことを確保する 県民ギャラリー用梱包材保管スペースを考慮する 県民ギャラリー利用者(ギャラリー借受者)の休憩スペース(10㎡程度)を設ける 	適宜	-	-	-	レベル2	○	-	-	自動車庫庫及び自動車通路	-	-	-	-	-	-	-
展示設備保管庫	<ul style="list-style-type: none"> 展示台や展示ケースを収納するのに十分な広さを確保する 出入口の幅・高さは荷物用EVの開口部にあわせる 企画展示室と同ー階とする 	150	4,500	-	-	レベル2	-	-	-	一般書庫、倉庫等	-	-	-	-	-	-	-

室名	各室には本表に記載の他、「別添資料17 什器備品及び映像音響機器リスト」、「別添資料2 収蔵庫設備リスト」及び「別添資料3 壁面展示ガラスケースの基準仕様」に記載の備品等を設置する。	基本的性能							建築							備考
		面積 (㎡) または 収容人数	天井高 (mm)	耐火	洪水浸水 対策	防犯	監視 カメラ	音環境	二重床	床荷重	床振動	床 仕上げ	壁 仕上げ	天井 仕上げ	カーテン/ ブラインド	
研究室	・調査研究をするために十分なスペースを確保し、必要な設備を設置 ・収蔵庫に近接させる	40	2,700	-	△	レベル2	-	-	事務室	V-90	上足利用に 配慮する	吸音に配慮する		○ 暗幕		
研究用図書室	・調査研究に使用する資料、参考図書を適切に分類・整理できるスペースを確保 ・浸水による資料の保護のため、GL+5.0m以上の位置に設ける ・研究効率を上げるため、研究資料倉庫と隣接させる。	120	2,700	-	○	レベル2	-	-	一般書庫、倉庫等	-	-	-	-	○		・その他、発注者にて以下を準備するので、事業者において当室へ移転、 設置すること 「書架W1850×D340×H1850」…2台 「書架W940×D340×H2150」…10台 「書架W880×D340×H1790」…4台 「書架W1840×D470×H2130」…8台 「ファイリングキャビネットW1800×D400×H970」…1台 「ファイリングキャビネットW1400×D400×H900」…1台 「ファイリングキャビネットW1140×D400×H580」…2台 「全自動防湿保管庫W1400×D1900×H450」…1台
研究作業室	・調査研究に係る作業のほか、展覧会と関連した作業にも利用できる機能を有する ・直射日光を遮り、自然光が確保できる環境とする （北側採光など時間帯による日射量の変動が少ないことが望ましい） ・作品・資料の調査・整理・薬剤を使用した簡易修復などを行う （撮影、装裱、資料調査など） ・作品を運び入れて作業するため、施設できるようにする ・浸水による資料の保護のため、GL+5.0m以上の位置に設ける	30	3,200	-	○	レベル3	-	-	事務室	V-90		吸音に配慮する		○		
研究資料倉庫	・資料や書籍類の一次的預かりに対応可能な広さと機能を有し、アーカイブ機能を備える ・資料、書籍の保存のため、温湿度と照明が調整可能な設備を備える ・外部の研究者による資料閲覧室を兼ねる ・浸水による資料の保護のため、GL+5.0m以上の位置に設ける ・研究効率を上げるため、研究用図書室と隣接させる	60	2,700	-	○	レベル3	-	-	一般書庫、倉庫等	-	-	-	-	-		
教育普及エリア	※記載の面積については、参考値とする。但し、エリアの合計面積は、記載面積合計値以上とする。															
ホール・レクチャールーム 機能(シアタールーム機能)	・多様な規模、内容の講演会等に対応でき、様々な利用形態に対応できる最新鋭の映像機器を設備 ・エントランスからのアクセスに配慮する ・プロセニアムアーチを設置しないオープン形式のホールとする ・平土間による空間構成を基本とする ・暗転できるように、遮光1級の暗幕を設置する。(映画、演劇にも対応) ・音楽イベントに対応するため、静音性・遮音性に配慮する ・「賑わい交流施設」として、展覧会入場者だけでなく誰もが自由にアクセスできるオープンな空間とする	100	4,500	-	-	レベル1	NC値 35以下	-	観覧場その他これらに 類する用途に供する建 築物の集会室(その他)	V-70	滑りにくい 素材	-	-	○ 遮光 カーテン		
楽屋機能	・1室設ける	2~3人 程度	2,700	-	-	レベル2	-	-	事務室	-	-	-	-	○		
ワークショップルーム ・スタジオ機能	・ワークショップ、レクチャー、県民の絵画教室など様々な使用形態に対応できるスペースを確保 ・準備室、水道設備など様々な使用形態に対応可能な設備を備える ・柔軟な利用ができるように移開仕切りで3室に分割できる構造とする ・間仕切りは展示壁にもなるよう計画する ・天井にライティングダクトを2.0mピッチ程度に設ける(1方向でよい) ・ライティングダクト1本あたりの負荷容量は400(VA)程度とする ・共用エリアからの様子が見えるような仕様とする ・開放感のある空間とする ・ワークショップでの機械の同時使用が可能なら、床コンセントを8.0mに1か所以上配置し、1か所400(VA)程度と する。 ・油絵の具等においの強い素材の使用も想定し、しっかりとした排気機能を備えること。それでもにおいを気にされ る人もいるため、飲食スペースやキッズルームからの距離は十分考慮すること ・外(野外)にも出やすい場所に位置すること ・暗転できるようにする ・作品の搬出入がスムーズに行えるよう、トラックヤードからのバック動線を確保する ・告知、活動報告ができるような掲示スペースを設置する ・「賑わい交流施設」として、展覧会入場者だけでなく誰もが自由にアクセスできる配置とし、使い方によって閉鎖・開 放できる構造とする ・エントランスからのアクセスおよび視認性に配慮する ・滞在制作するアーティストが制作に集中できるような空間を設置できるようにし(移動間仕切り等により区切ること ができる構造とする)、当該スペースでも水道設備やライティングダクトが利用できるようにする。 ・滞在制作するアーティストのための休憩スペース兼倉庫(10㎡程度)を設ける ・電源盤を当該室の近辺の目立たない位置に設ける ・システムキッチン(L=1200(HHコンロ付き))を設ける	80人程度 (椅子利用 の場合)	3,500	-	-	レベル1	-	-	観覧場その他これらに 類する用途に供する建 築物の集会室(その他)	V-90	・滑りにくい 素材 ・耐水性に 優れた素材	-	-	○ 遮光 カーテン	・その他、発注者にて以下を準備するので、事業者において当室へ移転、 設置すること 「備品等整理棚 W1850×D340×H1850」…2台	

室名	各室には本表に記載の他、「別添資料17 什器備品及び映像音響機器リスト」、「別添資料2 収蔵庫設備リスト」及び「別添資料3 壁面展示ガラスケースの基準仕様」に記載の備品等を設置する。	基本的性能							建築							備考
		面積 (㎡) または 収容人数	天井高 (mm)	耐火	洪水浸水 対策	防犯	監視 カメラ	音環境	二重床	床荷重	床振動	床 仕上げ	壁 仕上げ	天井 仕上げ	カーテン/ ブラインド	
準備室機能	・ワークショップ講師の待機場所として使用する ・ホール楽屋と近ければ、兼用可能とする	適宜	2,700	-	-	レベル2	-	-	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会所(その他)	-	-	-	○			
資材庫機能	・ワークショップのための器材や材料を保管する ・ワークショップルームの作業机、スタッキングチェアを収納する	適宜	2,700	-	-	レベル2	-	-	一般書庫、倉庫等	-	-	-	-			
キッズルーム機能	・子どもたちが美術館に訪訪する動機付けとなる芸術性の高い絵本や鑑賞教材を配置 ・イベント時は託児にも対応できるように配慮する ・授乳室に隣接させる ・WCをキッズルームから近く、分かりやすい場所に設ける ・人目の届く場所に配置する ・絵本の読み聞かせも実施 ・「賑わい交流施設」として、展覧会入場者だけでなく誰もが自由にアクセスできるオープンな空間とする ・エントランスからのアクセスに配慮する	80	2,700	-	-	レベル1	-	-	事務室	V-90	・上足利用に配慮する。 ・子どもの安全性に十分配慮する	・子どもの安全性に十分配慮する	-	○		
授乳室	・キッズルームに隣接させる ・内部を2ブース程度に仕切り、利用者による施設が可能な仕様とする	適宜	2,700	-	-	レベル1	-	-	事務室		-	-	-	○		
ボランティア室機能	・ボランティアが待機、作業する部屋として使用する ・一般来館者の動線に配慮した配置とする	50	2,700	-	-	レベル1	-	-	事務室	V-90	・吸音に配慮する		○			
サービスエリア																
ミュージアムショップ機能	・可能な限り、展示室から退出した来館者の動線に近接した場所に設置する ・備品についても本事業にて整備する	30以上	2,700	-	-	レベル1	○	-	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会所(その他)	V-90	滑りにくい素材	-	-	○		
レストラン	・利用者が気軽に立ち寄り、ゆったりと時間を過ごせる空間を確保 ・美術館閉館時(夜間・休館日など)の営業も可能なように計画する ・食材のにおいが展示室等に拡散しないよう、しっかりと排気機能を備え、設置場所も考慮する ・備品・厨房機器についても本事業にて整備する。	150以上	2,700	-	-	レベル2	-	-	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会所(その他)	V-90	滑りにくい素材	-	-	○		
共用・事務エリア																
【来館者ゾーン】																
風除室		適宜	適宜	-	-	レベル1	-	-	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会所(その他)		滑りにくい素材	-	-	-		
エントランス (フリースペース)	・必要に応じて彫刻作品等を設置するため、部分的に吹き抜け構造等により10.0m以上の天井高を確保すること ・「賑わい交流施設」として、展覧会入場者だけでなく誰もが自由にアクセスできるオープンな空間とする ・屋外との連続性を感じられるような開放的な空間構成とする ・公開制作の無料展示やミニコンサート、パフォーマンスイベント等を開催できるように配慮する ・施設のぎわいを演出する工夫する ・大規模展開催時には展示室への移動の待合空間として、十分な滞留スペースを確保する ・受付や休憩スペースを設け、出入口付近には傘立てスペースを確保する ・ホール、ワークショップルーム、キッズルーム、県民ギャラリー、コインロッカー置き場を隣接させる ・大型作品の展示にも対応するため、搬入経路に配慮するとともに床荷重・床材に配慮する(搬入扉サイズW4.0mm×H3.5mm程度) ・作品の展示にも対応できる、ピクチャーレールやスポットライトなどの整備を行う ・館内で実施中の展覧会を効果的に紹介できる設えとする	適宜	適宜	-	-	レベル1	○	-	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会所(その他)	V-90	滑りにくい素材	-	-	-		
受付	・チケット販売や荷物預かり、車椅子の貸出に対応する ・エントランスから視認しやすい位置に設ける	適宜	適宜	-	-	レベル1	-	-	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会所(その他)	V-90	-	-	-	○		
クローク	・受付での荷物預かり(車椅子、ベビーカー等)用スペース ・受付に近接させる	適宜	2,700	-	-	レベル1	-	-	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会所(その他)		-	-	-	-		
コインロッカー置き場		※1 ※1+※2 =2970以上	2,700	-	-	レベル1	-	-	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会所(その他)		-	-	-	-		
EVホール	・大規模展開催時に対応できる十分な滞留スペースを確保する ・エントランスや展示室からの視認性に配慮する	適宜	4,500	-	-	レベル1	-	-	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会所(その他)	V-90	-	-	-	-		

室名	各室には本表に記載の他、「別添資料17 什器備品及び映像音響機器リスト」、「別添資料2 収蔵庫設備リスト」及び「別添資料3 壁面展示ガラスケースの基準仕様」に記載の備品等を設置する。	基本的性能							建築							備考	
		面積 (㎡) または 収容人数	天井高 (mm)	耐火	洪水浸水 対策	防犯	監視 カメラ	音環境	二重床	床荷重	床振動	床 仕上げ	壁 仕上げ	天井 仕上げ	カーテン/ ブラインド		その他
展示ロビー	・補助的なチケット販売スペースを設け、展示会の入場待ちにも対応できるよう、一定の広さを確保する ・来館者の休憩スペースを確保し、眺望等にも配慮する	適宜	4,500	-	-	レベル1	○	-	○	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会室(その他)	V-90	滑りにくい 素材	-	-	○		
主催者控室	・企画展示室に近接させる	5人程度	2,700	-	-	レベル2		Ⅲ	○ OAフロア	事務室	V-90	吸音に配慮する			○		
来館者用トイレ	・各階に男女別に設ける ・男女ともベビーチェアおよびベビーベッドを設ける ・女性用にはパウダールームを設ける	適宜	2,700	-	-	レベル1		-	-	事務室		-	-	-	-		
多目的トイレ	・各階に設ける ・自動ドア又は引戸とする。	適宜	2,700	-	-	レベル1		-	-	事務室		-	-	-	-		
仮設店舗用倉庫		適宜	2,700	-	-	レベル2		-	-	一般書庫、倉庫等		-	-	-	-		
【職員ゾーン】																	
館長室	・総務事務室、学芸事務室、応接室に近接させる ・1階とすること	20	2,700	-	-	レベル2		Ⅱ	○ OAフロア	事務室	V-90	吸音に配慮する			○		
総務事務室	・収蔵庫や展示室等への職員用動線を確保する ・応接室、館長室、更衣室等を近接させる ・打合せスペースを適宜配置する ・1階とすること ・事業者職員の執務スペース	60	2,700	-	-	レベル2		Ⅲ	○ OAフロア	事務室	V-90	吸音に配慮する			○	中央監視設備の主盤	
学芸執務室	・収蔵庫や展示室等への職員用動線を確保する ・応接室、館長室、更衣室等を近接させる ・打合せスペースを適宜配置する ・1階とすること ・県職員の執務スペース	60	2,700	-	-	レベル2		Ⅲ	○ OAフロア	事務室	V-90	吸音に配慮する			○	・その他、発注者にて以下を準備するので、事業者において当室へ移転、設置すること 「机W1200×D700×H700」…8台 「椅子」…8脚 「スチール書庫(個人用)W900×D400×H1850」…8台 「スチール書庫(全体用)W1840×D400×H1760」…2台 「スチール書庫(個人用)W900×D400×H1080」…4台 「ブックラックW690×D410×H1170」…2台	
印刷室	・騒音があるため独立した部屋とする	適宜		-	-	レベル2		Ⅱ	-	事務室		吸音に配慮する			○		
応接室	・総務事務室、学芸事務室、館長室に近接させる ・用途にふさわしい内装とする ・車(管理用出入口)からの動線に配慮する	30	2,700	-	-	レベル2		Ⅱ	-	事務室	V-70	吸音に配慮する			○		
会議室	・主に館内の会議や来客との会議に使用する	50	2,700	-	-	レベル2		Ⅱ	○ OAフロア	事務室	V-70	吸音に配慮する			○		
資材庫	・ユニークベニューとしての利用のための器材や机、スタッキングチェア等を収納する ・他の資材庫、倉庫等と近ければ、兼用可とする	適宜	2,700	-	-	レベル2		-	-	一般書庫、倉庫等		-	-	-	-		
展示作業室	・展示室のバックスペースとして、展示替えの際の作業スペースとして使用する ・扉を設ける場合、荷物用EVの扉の大きさを確保する	適宜	2,700	-	-	レベル2	○	Ⅲ	○	事務室		吸音に配慮する			○		
監視員控室	・休憩等での同時使用は最大10人程度 ・管理エリアからの動線に配慮した配置とする	10人程度	2,700	-	-	レベル2		-	-	事務室	V-90	吸音に配慮する			○		
更衣室(男女)	・男女別に設ける	適宜	2,700	-	-	レベル2		-	-	事務室		上足利用に 配慮する	-	-	○		
給湯室	・職員および委託業者が利用する	適宜	2,700	-	-	レベル2		-	-	事務室		-	-	-	-	・その他、発注者にて以下を準備するので、事業者において当室へ移転、設置すること 「テーブルW1770×D600×H700」…1台	
警備員室	・出入管理、建築設備関係の監視、警報関係の監視を行う ・職員と委託業者の動線は、できる限り重複しないよう配慮する ・通用口の受付を兼ねる ・夜間の美術品の搬入にも対応する ・警備員控室、救護室と一体とした整備も可とする ・通用口、トラックヤードに隣接させる ・夜間の有人対応も想定する	警備員 2人程度 設備監視員 適宜	2,700	-	-	レベル2		-	-	事務室	V-90	-	-	-	○	中央監視設備の副盤	

室名	各室には本表に記載の他、「別添資料17 什器備品及び映像音響機器リスト」、「別添資料2 収蔵庫設備リスト」及び「別添資料3 壁面展示ガラスケースの基準仕様」に記載の備品等を設置する。	基本的性能						建築									備考
		面積 (㎡) または 収容人数	天井高 (mm)	耐火	洪水浸水 対策	防犯	監視 カメラ	音環境	二重床	床荷重	床振動	床 仕上げ	壁 仕上げ	天井 仕上げ	カーテン/ ブラインド	その他	
				○… 必ず GL+5.0m以 上に配置 △… できる限り GL+5.0m以 上に配置	レベル1… 誰でも 入れる レベル2… 職員のみ 入れる レベル3… 限られた職 員のみ 入れる	II…高い静 穏性 III…一般事 務室程度の 静穏性	建築構造設計基準の資料 平成30年版(国土交通省 大臣官房官庁営繕部 整備課)「表4.2 積載荷重」による区分の適用										
警備員控室	・警備員の仮眠スペースとして使用する ・職員と委託業者の動線は、できる限り重複しないよう配慮する ・警備員室、救護室と一体とした整備も可能とする ・救護室と兼用可能とする	※2	適宜	2,700	-	-	レベル2	-	-	事務室	V-90	-	-	-	○		
救護室	・来館者の救護スペースとして使用する ・通用口からの救急隊による搬送ルートに配慮する ・警備員室、警備員控室と一体とした整備も可能とする ・警備員控室と兼用可能とする		適宜	2,700	-	-	レベル2	-	-	事務室	V-90	-	-	-	○		
清掃員控室	・職員と委託業者の動線は、できる限り重複しないよう配慮する		適宜	2,700	-	-	レベル2	-	-	事務室	V-90	-	-	-	○		
清掃用具倉庫	・清掃委託業者が利用する		適宜	2,700	-	-	レベル2	-	-	事務室		-	-	-	-		
ゴミ集積所	・収集車のアクセスに配慮する ・屋内に設ける		適宜	-	-	-	レベル2	-	-	事務室		水洗いが可能な仕上げとする		-	-		
職員用トイレ	・男女別に設ける ・総務事務室、学芸執務室、応接室、会議室からのアクセスに配慮する		適宜	2,700	-	-	レベル2	-	-	事務室		-	-	-	-		
多目的トイレ	・1階もしくは総務事務室・学芸執務室を配置した階に1カ所以上設ける ・自動ドア又は引戸とする。		適宜	2,700	-	-	レベル1	-	-	事務室		-	-	-	-		
管理用廊下	・台車での往来に配慮する		適宜	2,700	-	-	レベル2	○	-	事務室		-	-	-	-		
展示会用倉庫	・空のクレートなどを一時的に保管する		30	2,700	-	-	レベル2	-	-	一般書庫、倉庫等		-	-	-	-		
屋外用倉庫	・屋外でのイベントに使用する物品(テント、案内板等)を保管する ・屋外またはトラックヤードに面して設置する ・屋外の広場への動線に配慮する		適宜	2,700	-	-	レベル2	-	-	一般書庫、倉庫等		-	-	-	-		
倉庫		適宜	2,700	-	-	レベル2	-	-	一般書庫、倉庫等		-	-	-	-			
設備関係諸室	・電気設備、空調設備、給排水衛生設備、昇降機設備に関連する諸室を設置する (参考)電気室、発電機室、空調機械室、受水槽室、消火ガスボンベ庫、ポンプ室(汚水・揚水・消火・雨水等)、EV機械室、燃料庫ほか ・熱源(ガス・重油・電気・バイオマス等)は、省エネ・環境・メンテナンス性を総合的に検討のうえ、決定する ・諸室の面積は、設備機器の形状、メンテナンス空間を考慮のうえ、決定する ・天井高さは機器搬入・搬出及び将来的な改修を考慮して決定する ・各階にPS、EPS並びに空調用機械室を配置し、メンテナンスに配慮する ・浸水による設備機器の保護のため、電気室、発電機室、浸水保護を指定されている諸室の空調機械室、消火ガスボンベ庫はGL+5.0m以上の位置に設ける	1,000程度		-	○	レベル2	-	-	計画による		吸音に配慮する		-				

室名	電気設備														機械設備										
	照度	演色性	一般コンセント	特殊機器コンセント	非常電源(空調)	非常電源(照明・コンセント)	TEL	LAN	館内放送音量調節	TV	インターホン	映像・音響機器	自火報	子時計	その他	夏季空調(上:温度)(下:湿度)	冬季空調(上:温度)(下:湿度)	換気	空調間欠運転	空気清浄度	給排水	給湯	漏水対策	ガス消火設備	
室名						※下記によらず、廊下・階段で外部出入口から対象室に至るルートは照明:20%(とりあえず現県博の50%ではなく、展示室などと同様の20%)を点灯させる		職員用: 有線LAN 来館者用:公衆無線LAN											I… 8:00~18:00 (一般開館時間) II… 8:00~21:00 (施設管理時間) III… 24時間運転	I… 粉塵:0.15mg/m3以下 CO:10ppm以下 CO2:1000ppm以下 VOC:0.1mg/m3以下 NH3(アルカリ性物質):30ppb以下 HCOH, CH3COH:30ppb以下 酢酸(有機酸):40ppb以下 ギ酸(有機酸):10ppb以下 II… 粉塵:0.15mg/m3以下 CO:10ppm以下 CO2:1000ppm以下 VOC:0.1mg/m3以下 NH3(アルカリ性物質):30ppb以下 HCOH:80ppb以下 CH3COH:30ppb以下 酢酸(有機酸):170ppb以下 ギ酸(有機酸):10ppb以下 III… 建築物環境衛生管理基準による					
収蔵エリア																									
収蔵庫 共通																									
収蔵庫①	100 lx	-	○	-	○	○ 照明:20% コンセント:1カ所以上	○	○ (職員用)	○	-	-	-	○	-		22°C±1°C 55%±5%	18°C±1°C 55%±5%	○	II	I	-	-	○	○	
収蔵庫②	100 lx	-	○	-	○	○ 照明:20% コンセント:1カ所以上	○	○ (職員用)	○	-	-	-	○	-		22°C±1°C 55%±5%	18°C±1°C 55%±5%	○	I	I	-	-	○	○	
収蔵庫③	100 lx	-	○	-	○	○ 照明:20% コンセント:1カ所以上	○	○ (職員用)	○	-	-	-	○	-		22°C±1°C 55%±5%	18°C±1°C 55%±5%	○	I	I	-	-	○	○	
収蔵庫前室	100 lx	-	○	-	-	-	○	○ (職員用)	○	-	-	-	○	-		22°C±1°C 55%±5%	18°C±1°C 55%±5%	○	I	I	-	-	○	○	
写真収蔵庫	100 lx	-	○	-	○	○ 照明:20% コンセント:1カ所以上	○	○ (職員用)	○	-	-	-	○	-		17°C±2°C 50%±5%	17°C±2°C 50%±5%	○	I	I	-	-	○	×	
一時保管庫	100 lx	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-		22°C±1°C 60%±5%	18°C±1°C 60%±5%	○	III	I	-	-	○	○	

室名	電気設備													機械設備											
	照度	演色性	一般コンセント	特殊機器コンセント	非常電源(空調)	非常電源(照明・コンセント)	TEL	LAN	館内放送音量調節	TV	インターホン	映像・音響機器	自火報	子時計	その他	夏季空調(上:温度/下:湿度)	冬季空調(上:温度/下:湿度)	換気	空調間欠運転	空気清浄度	給排水	給湯	漏水対策	ガス消火設備	
室名						※下記によらず、廊下・階段で外部出入口から対象室に至るルートは照明:20%(とりあえず現県博の50%ではなく、展示室などと同様の20%)を点灯させる		職員用: 有線LAN 来館者用:公衆無線LAN											I… 8:00~18:00 (一般開館時間) II… 8:00~21:00 (施設管理時間) III… 24時間運転	I… 粉塵:0.15mg/m3以下 CO:10ppm以下 CO2:1000ppm以下 VOC:0.1mg/m3以下 NH3(アルカリ性物質):30ppb以下 HCOH, CH3COH:30ppb以下 酢酸(有機酸):40ppb以下 ギ酸(有機酸):10ppb以下 II… 粉塵:0.15mg/m3以下 CO:10ppm以下 CO2:1000ppm以下 VOC:0.1mg/m3以下 NH3(アルカリ性物質):30ppb以下 HCOH:80ppb以下 CH3COH:30ppb以下 酢酸(有機酸):170ppb以下 ギ酸(有機酸):10ppb以下 III… 建築物環境衛生管理基準による					
トラックヤード	150 lx	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	△	-	-	-	-	○	-		III	-	-	-	×	
荷解室	150 lx	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-		概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	II	III	-	-	-	○		
展示エリア																									
展示室 共通																									

室名	電気設備														機械設備										
	照度	演色性	一般コンセント	特殊機器コンセント	非常電源(空調)	非常電源(照明・コンセント)	TEL	LAN	館内放送音量調節	TV	インターホン	映像・音響機器	自火報	子時計	その他	夏季空調(上:温度) (下:湿度)	冬季空調(上:温度) (下:湿度)	換気	空調間欠運転	空気清浄度	給排水	給湯	漏水対策	ガス消火設備	
						※下記によらず、廊下・階段で外部出入口から対象室に至るルートは照明:20%(とりあえず現展博の50%ではなく、展示室などと同様の20%)を点灯させる		職員用: 有線LAN 来館者用:公衆無線LAN											I… 8:00~18:00 (一般開館時間) II… 8:00~21:00 (施設管理時間) III… 24時間運転	I… 0.15mg/m3以下 CO:10ppm以下 CO2:1000ppm以下 VOC:0.1mg/m3以下 NH3(アルカリ性物質):30ppb以下 HCOH, CH3COH:30ppb以下 酢酸(有機酸):40ppb以下 ギ酸(有機酸):10ppb以下 II… 0.15mg/m3以下 CO:10ppm以下 CO2:1000ppm以下 VOC:0.1mg/m3以下 NH3(アルカリ性物質):30ppb以下 HCOH:80ppb以下 CH3COH:30ppb以下 酢酸(有機酸):170ppb以下 ギ酸(有機酸):10ppb以下 III… 建築物環境衛生管理基準による					
常設展示室①	200 lx	Ra>90	○	-	-	○ 照明:スポットライトを除く20% コンセント:1カ所以上	○ (来館者用)	○	-	-	-	○	-	-		24°C±2 55±5%	22°C±2 55±5%	○	I	II	-	-	○	○	
常設展示室②	200 lx	Ra>90	○	-	-	○ 照明:スポットライトを除く20% コンセント:1カ所以上	○ (来館者用)	○	-	-	-	○	-	-		24°C±2 55±5%	22°C±2 55±5%	○	I	II	-	-	○	○	
常設展示室③	200 lx	Ra>90	○	-	-	○ 照明:スポットライトを除く20% コンセント:1カ所以上	○ (来館者用)	○	-	-	-	○	-	-		24°C±2 55±5%	22°C±2 55±5%	○	I	II	-	-	○	○	
常設展示室④	50 lx	Ra>90	○	-	-	○ 照明:スポットライトを除く20% コンセント:1カ所以上	○ (来館者用)	○	-	-	-	○	-	-		24°C±2 55±5%	22°C±2 55±5%	○	I	II	-	-	○	○	
常設展示室⑤	200 lx	Ra>90	○	-	○	○ 照明:スポットライトを除く20% コンセント:1カ所以上	○ (来館者用)	○	-	-	-	○	-	-		24°C±2 55±5%	22°C±2 55±5%	○	I	II	-	-	○	○	
企画展示室	200 lx	Ra>90	○	○ 現代芸術の展示に対応	○	○ 照明:スポットライトを除く20% コンセント:1カ所以上	○ (来館者用)	○	-	-	-	○	-	-		24°C±2 55±5%	22°C±2 55±5%	○	I	II	-	-	○	○	
県民ギャラリー	200 lx	-	○	-	-	-	○ (来館者用)	○	-	-	-	○	-	-		概ね 26°C 50%	概ね 22°C 40%	○	I	III	-	-	-	×	
県民ギャラリー用 トラックヤード	200 lx	-	○	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-		-	-	○	-	-	○	-	-	×	
展示設備保管庫	100 lx	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-		-	-	○	-	-	-	-	-	×	

室名	電気設備													機械設備												
	照度	演色性	一般コンセント	特殊機器コンセント	非常電源(空調)	非常電源(照明・コンセント)	TEL	LAN	館内放送音量調節	TV	インターホン	映像・音響機器	自火報	子時計	その他	夏季空調(上:温度)(下:湿度)	冬季空調(上:温度)(下:湿度)	換気	空調間欠運転	空気清浄度	給排水	給湯	漏水対策	ガス消火設備		
																				I…粉塵:0.15mg/m3以下 CO:10ppm以下 CO2:1000ppm以下 VOC:0.1mg/m3以下 NH3(アルカリ性物質):30ppb以下 HCOH, CH3COH:30ppb以下 酢酸(有機酸):40ppb以下 ギ酸(有機酸):10ppb以下 II…粉塵:0.15mg/m3以下 CO:10ppm以下 CO2:1000ppm以下 VOC:0.1mg/m3以下 NH3(アルカリ性物質):30ppb以下 HCOH:80ppb以下 CH3COH:30ppb以下 酢酸(有機酸):170ppb以下 ギ酸(有機酸):10ppb以下 III…建築物環境衛生管理基準による						
研究エリア																										
研究室	500 lx	Ra>80	○ 撮影用に2箇所以上	-	-	-	○	○ (職員用)	○	-	-	-	○	○		概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	II	III	-	-	-	○		
研究用図書室	500 lx	Ra>80	○	-	-	-	○	○ (職員用)	○	-	-	-	○	○		概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	II	III	×	×	-	○		
研究作業室	500 lx	Ra>80	○	-	-	-	○	○ (職員用)	○	-	-	-	○	○		概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○ (薬剤等を使用する 場合があるため、専用の換気 経路を設ける)	II	II	-	-	-	○		
研究資料倉庫	100 lx	-	○	-	-	-	○	○ (職員用)	※	-	-	-	○	○		22℃±2℃ 60%±5%	18℃±2℃ 60%±5%	○	II	-	×	×	○	○		
教育普及エリア																										
ホール・レクチャールーム 機能(シアタールーム機能)	500 lx	-	○	-	-	-	○	○ (職員用) (来館者用)	○	○	-	○	○	○		概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	I	III	-	-	-	×		
楽屋機能	300 lx	-	○	-	-	-	○	○ (来館者用)	○	-	-	-	○	○		概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	I	III	-	-	-	×		
ワークショップルーム ・スタジオ機能	500 lx	-	○	○ 現代芸術の 展示に対応	-	-	○	○ (職員用) (来館者用)	○	-	-	○	○	○		概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	I	III	○	○	-	×		

室名	電気設備														機械設備											
	照度	演色性	一般コンセント	特殊機器コンセント	非常電源(空調)	非常電源(照明・コンセント)	TEL	LAN	館内放送音量調節	TV	インターホン	映像・音響機器	自火報	子時計	その他	夏季空調(上:温度) (下:湿度)	冬季空調(上:温度) (下:湿度)	換気	空調間欠運転	空気清浄度	給排水	給湯	漏水対策	ガス消火設備		
																				I…粉塵:0.15mg/m3以下 CO:10ppm以下 CO2:1000ppm以下 VOC:0.1mg/m3以下 NH3(アルカリ性物質):30ppb以下 HCOH, CH3COH:30ppb以下 酢酸(有機酸):40ppb以下 ギ酸(有機酸):10ppb以下 II…粉塵:0.15mg/m3以下 CO:10ppm以下 CO2:1000ppm以下 VOC:0.1mg/m3以下 NH3(アルカリ性物質):30ppb以下 HCOH:80ppb以下 CH3COH:30ppb以下 酢酸(有機酸):170ppb以下 ギ酸(有機酸):10ppb以下 III…建築物環境衛生管理基準による						
準備室機能	300 lx	-	○	-	-	-	○ (来館者用)	○	-	-	-	○	-	-		概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	I	III	-	-	-	×		
資材庫機能	100 lx	-	○	-	-	-	-	※	-	-	-	○	-	-		-	-	○	-	-	-	-	-	×		
キッズルーム機能	300 lx	-	○	-	-	-	○ (来館者用)	○	-	-	-	○	-	-		概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	I	III	-	-	-	×		
授乳室	300 lx	-	○	-	-	-	-	※	-	-	-	○	-	-		概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	I	III	-	-	-	×		
ボランティア室機能	300 lx	-	○	-	-	-	○ (来館者用)	○	-	-	-	○	○	-		概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	I	III	-	-	-	×		
サービスエリア																										
ミュージアムショップ機能	500 lx	-	○	-	-	-	○ (職員用) (来館者用)	○	-	-	-	○	-	-		概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	I	III	-	-	-	×		
レストラン	100 lx	-	○	-	-	-	○ (職員用) (来館者用)	○	-	-	-	○	-	-		概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	I	III	○	○	-	×		
共用・事務エリア																										
【来館者ゾーン】																										
風除室	500 lx	-	○	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	×		
エントランス (フリースペース)	500 lx	-	○	○ 現代芸術の 展示に対応	-	-	○ (職員用) (来館者用)	○	-	-	○	○	○	-		概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	I	III	-	-	-	×		
受付	500 lx	-	○	-	-	-	○ (職員用) (来館者用)	○	-	-	-	○	-	-		概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	I	III	-	-	-	×		
クローク	100 lx	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-		-	-	○	-	-	-	-	-	×		
コインロッカー置き場	100 lx	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-		-	-	○	-	-	-	-	-	×		
EVホール	150 lx	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-		概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	I	III	-	-	-	×		

室名	電気設備														機械設備										
	照度	演色性	一般コンセント	特殊機器コンセント	非常電源(空調)	非常電源(照明・コンセント)	TEL	LAN	館内放送音量調節	TV	インターホン	映像・音響機器	自火報	子時計	その他	夏季空調(上:温度/下:湿度)	冬季空調(上:温度/下:湿度)	換気	空調間欠運転	空気清浄度	給排水	給湯	漏水対策	ガス消火設備	
																				I…粉塵:0.15mg/m3以下 CO:10ppm以下 CO2:1000ppm以下 VOC:0.1mg/m3以下 NH3(アルカリ性物質):30ppb以下 HCOH, CH3COH:30ppb以下 酢酸(有機酸):40ppb以下 ギ酸(有機酸):10ppb以下 II…粉塵:0.15mg/m3以下 CO:10ppm以下 CO2:1000ppm以下 VOC:0.1mg/m3以下 NH3(アルカリ性物質):30ppb以下 HCOH:80ppb以下 CH3COH:30ppb以下 酢酸(有機酸):170ppb以下 ギ酸(有機酸):10ppb以下 III…建築物環境衛生管理基準による					
展示ロビー	500 lx	-	○	-	-	-	○ (職員用) (来館者用)	○	-	-	-	○	-	-	概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	I	III	-	-	-	-	×	
主催者控室	300 lx	-	○	-	-	○	○ (来館者用)	○	-	-	-	○	○	-	概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	I	III	-	-	-	-	×	
来館者用トイレ	200 lx	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	△	-	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	×	
多目的トイレ	200 lx	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	△	-	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	×	
仮設店舗用倉庫	100 lx	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	×	
【職員ゾーン】																									
館長室	300 lx	-	○	-	-	○ 照明:20% コンセント:50%	○ (職員用)	○	○	-	-	○	○	-	概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	II	III	-	-	-	-	×	
総務事務室	500 lx	-	○	-	-	○ 照明:20% コンセント:50%	○ (職員用)	○	○	○(親)	-	※受信機	○	-	概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	II	III	-	-	-	-	×	
学芸執務室	500 lx	-	○	-	-	○ 照明:20% コンセント:50%	○ (職員用)	○	○	-	-	○	○	-	概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	II	III	-	-	-	-	×	
印刷室	500 lx	-	○	-	-	-	○ (職員用)	○	-	-	-	○	-	-	概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	II	-	-	-	-	-	×	
応接室	300 lx	-	○	-	-	-	○ (職員用)	○	-	-	-	○	○	-	概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	I	III	-	-	-	-	×	
会議室	300 lx	-	○	-	-	-	○ (職員用)	○	○	-	-	○	○	-	概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	I	III	-	-	-	-	×	
資材庫	100 lx	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	×	
展示作業室	500 lx	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	I	III	-	-	-	-	×	
看視員控室	300 lx	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	I	III	-	-	-	-	×	
更衣室(男女)	200 lx	-	○	-	-	-	-	※	-	-	-	○	-	-	概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	II	III	-	-	-	-	×	
給湯室	200 lx	-	○	-	-	-	-	※	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	×	
警備員室	300 lx	-	○	-	-	-	○ (職員用)	○	○	○(親)	-	※副受信機	○	-	概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	III	III	-	-	-	-	×	

室名	電気設備														機械設備										
	照度	演色性	一般コンセント	特殊機器コンセント	非常電源(空調)	非常電源(照明・コンセント)	TEL	LAN	館内放送音量調節	TV	インターホン	映像・音響機器	自火報	子時計	その他	夏季空調(上:温度) (下:湿度)	冬季空調(上:温度) (下:湿度)	換気	空調 間欠運転	空気清浄度	給排水	給湯	漏水対策	ガス消火設備	
																				I…粉塵:0.15mg/m3以下 CO:10ppm以下 CO2:1000ppm以下 VOC:0.1mg/m3以下 NH3(アルカリ性物質):30ppb以下 HCOH, CH3COH:30ppb以下 酢酸(有機酸):40ppb以下 ギ酸(有機酸):10ppb以下 II…粉塵:0.15mg/m3以下 CO:10ppm以下 CO2:1000ppm以下 VOC:0.1mg/m3以下 NH3(アルカリ性物質):30ppb以下 HCOH:80ppb以下 CH3COH:30ppb以下 酢酸(有機酸):170ppb以下 ギ酸(有機酸):10ppb以下 III…建築物環境衛生管理基準による					
警備員控室	300 lx	-	○	-	-	-	-	○	○	-	-	○	○		概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	III	III	-	-	-	x		
救護室	300 lx	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	○	-		概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	I	III	-	-	-	x		
清掃員控室	300 lx	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	○	-		概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	I	III	-	-	-	x		
清掃用具倉庫	100 lx	-	○	-	-	-	-	※	-	-	-	○	-		-	-	○	-	-	-	-	-	x		
ゴミ集積所	100 lx	-	○	-	-	-	-	※	-	-	-	○	-		-	-	○	-	-	○	-	-	x		
職員用トイレ	200 lx	-	○	-	-	-	-	※	-	-	-	△	-		-	-	○	-	-	○	○	-	x		
多目的トイレ	200 lx	-	○	-	-	-	-	※	-	-	-	△	-		-	-	○	-	-	○	○	-	x		
管理用廊下	150 lx	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-		概ね 26℃ 50%	概ね 22℃ 40%	○	II	-	-	-	-	x		
展覧会用倉庫	100 lx	-	○	-	-	-	-	※	-	-	-	○	-		-	-	○	-	-	-	-	-	x		
屋外用倉庫	100 lx	-	○	-	-	-	-	※	-	-	-	○	-		-	-	○	-	-	○	-	-	x		
倉庫	100 lx	-	○	-	-	-	-	※	-	-	-	○	-		-	-	○	-	-	-	-	-	x		
設備関係諸室	100 lx	-	○	○ 機器用	-	-	-	○	-	-	-	○	-		-	-	○	-	-	○	-	-	x		